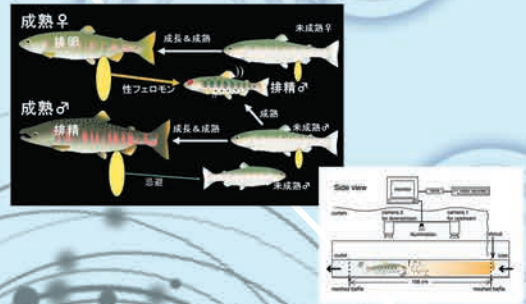


2018年3月3日 (土)

BIO Mimetics

バイオミメティクス市民セミナー・対話篇

テーマ：鳥と魚、したたかな求愛



歌とダンスでつむぐ鳥の愛

北海道大学大学院理学研究院

相馬 雅代



華やかで美しく、
しかし時に珍妙で、
滑稽なほど真剣。

これらが全てあてはまるのが
鳥類の求愛ディスプレイです。

人間が、伴侶を得るために
あの手この手の「アピール」を
尽くすのにも似て、

鳥達の求愛行動の見事さと多様性は、
私たちが魅了する不思議さに満ちています。

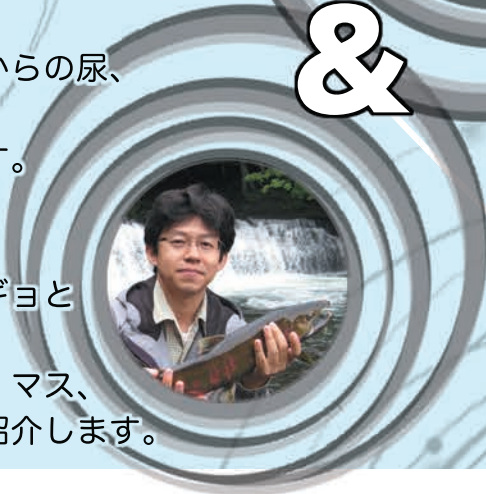
私たちの研究室では特に、
カエデチョウ科鳥類を対象に、
コミュニケーション行動の進化を
大きなテーマとし、求愛ディスプレイに
焦点をあてて研究を行っています。

本講演では、そこからどのような
発見が得られたかをご紹介します。



魚類は我々哺乳類に比べてニオイ
(匂い/臭い) に大変敏感であり、
ニオイを餌探し・敵の発見・
仲間の識別・生殖に利用しています。
そのうち、生殖系において
同種の行動や生理に影響するものを
性フェロモンと呼びます。
魚の場合、鰓粘液、腎臓からの尿、
生殖腺からの生殖腔液に
性フェロモンが含まれます。
本講演では魚類の
性フェロモンのうち、
よく研究されているキンギョと
ウミヤツメのほか、
タナゴ、クサフグ、サケ・マス、
水産業への応用について紹介します。

&



魚だって、匂いで惹きつける

東京農業大学生物産業学部

山家 秀信

主催：北海道大学総合博物館
共催：科学研究費新学術領域「生物規範工学」
北海道大学 電子科学研究所
特定非営利活動法人バイオミメティクス推進協議会
共催/協賛：高分子学会北海道支部
協賛：千歳科学技術大学バイオミメティクス研究センター
北海道大学総合博物館
060-0810 札幌市北区北10条西8丁目
問合せ先：TEL.011-706-2658 FAX.011-706-4029
E-mail: museum-jimu@museum.hokudai.ac.jp

会場：北海道大学総合博物館/1階 「知の交流」
札幌市北区北10条西8丁目

時間：午後1時30分から午後3時30分